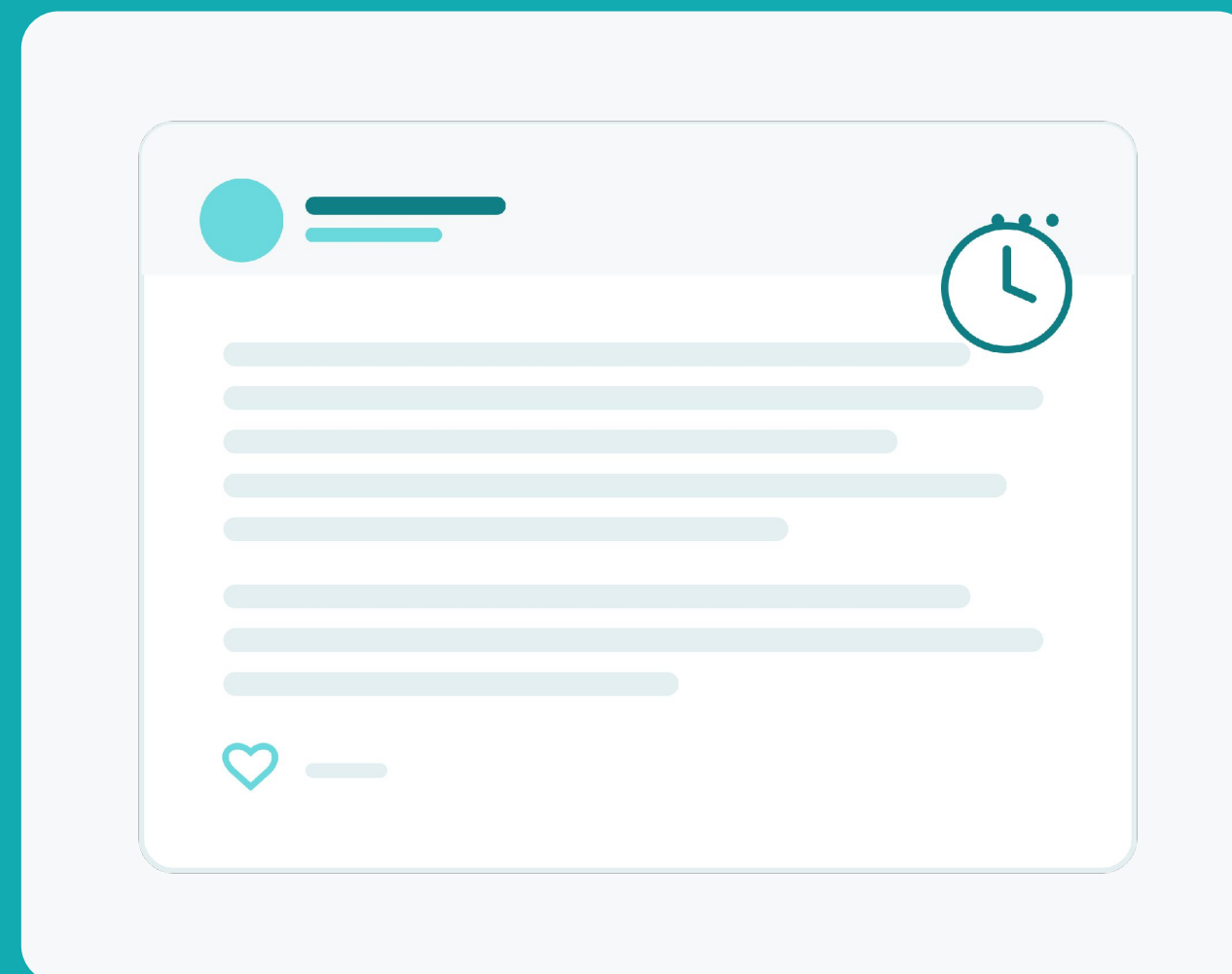


毎日投稿しているのに、疲れだけが残る

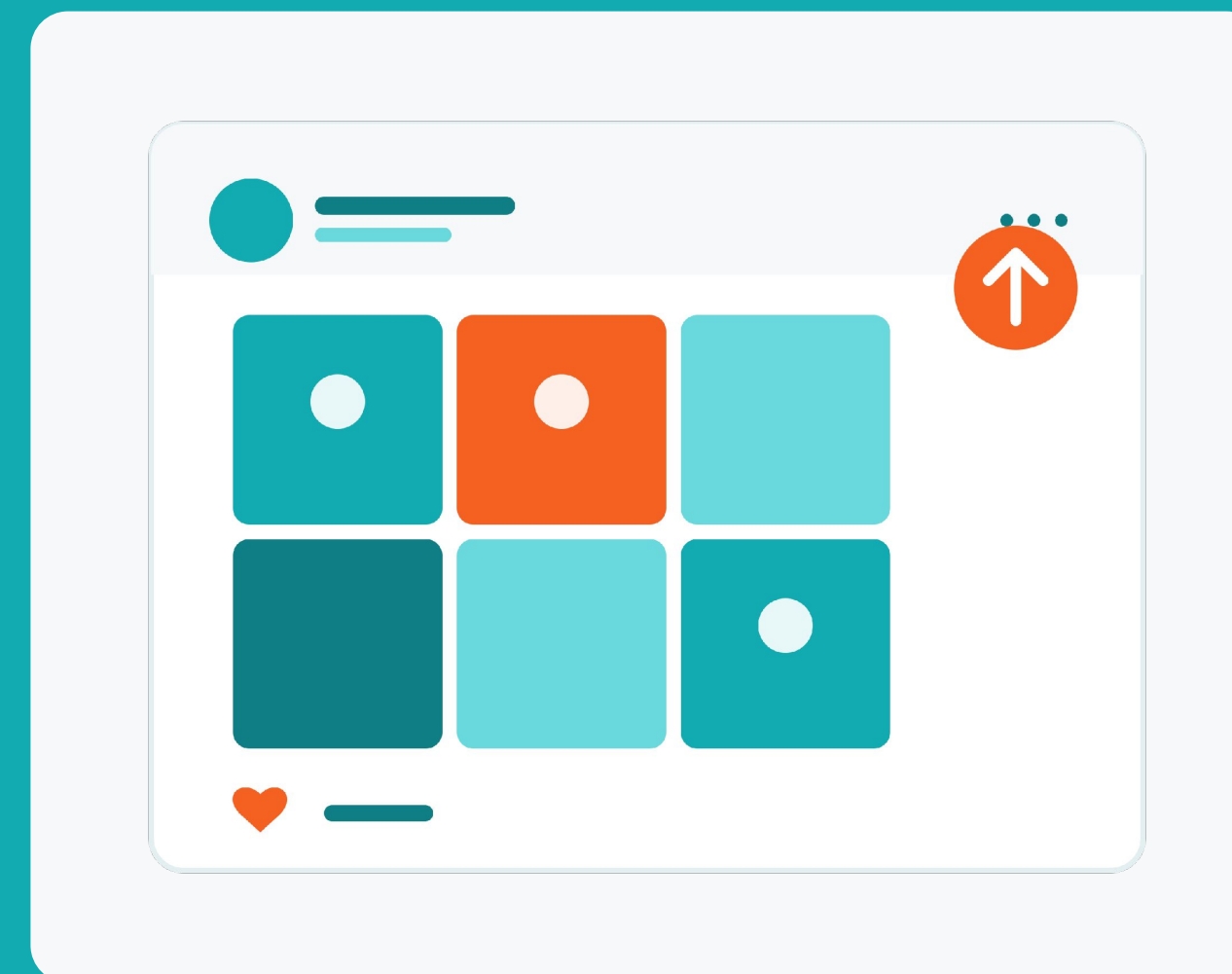
インスタ集客の デメリット5選と対策

個人事業主・小規模事業者のための実践ガイド

週1本でも回る

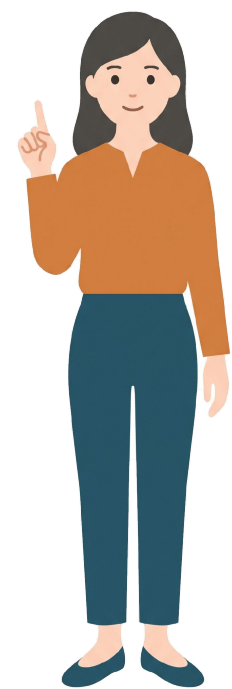


発信が資産になる



TOMOTAKE
SNS運用支援

INDEX



1 インスタ集客の5つのデメリット

2 デメリットとの向き合い方

3 続ける仕組みと、資産になる発信

4 友竹HDがお手伝いできること

5 よく聞かれるご質問

強力なツールだからこそ
先に知っておきたいこと

5つのデメリット



続かない原因は、だいたいこの5つです

インスタ集客の5つのデメリット

1

コンテンツを作り続けるのが負担になる

1本に1時間以上かかり、本業を圧迫する

2

フォロワー数と売上がつながらない

見ているだけの人が増えていく

3

投稿が埋もれて見られない

似た発信が多く、届かないまま流れる

4

数字に振り回されて疲れる

他人と比べて、続ける気力が削られる

5

投稿が数日で流れて消える

時間をかけた1本が、資産にならない



5つのデメリット

デメリット1

作り続けるのが 負担になる

- 画像・リール・ストーリーズを毎日用意する
- 1本の制作に1時間以上かかることがある
- コメントやDMの対応まで手が回らない
- 本業の合間で作るため、いつも締切間際になる

対策：本数・撮る場所・外に出す範囲を先に決める



5つのデメリット

デメリット2

フォロワー数と 売上がつながらない

- フォロワーは増えるのに、問い合わせが来ない
- 見ているだけの人が大半を占めている
- いいねの数と、申し込みの数が比例しない
- 発信の目的が「増やすこと」になっている

対策：知る → 信頼する → 行動する、の3段をつくる



5つのデメリット

デメリット3

投稿が埋もれて 見られない

- 似たテーマの発信が多く、埋もれてしまう
- 表示のされやすさを自分で決められない
- フォロワーが少ない時期は、ほとんど届かない
- 反応がないまま、手が止まってしまう

対策：リール・検索される言葉・プロフィールで入口をつくる



5つのデメリット

デメリット4

数字に振り回されて 疲れる

- 他の人の反応と自分を比べてしまう
- 毎日投稿しても反応が少なく、落ち込む
- 見せ方の上手さで差がついたように感じる
- 数字が伸びない月に、続ける理由を見失う

対策：見る数字を1つ決め、前月の自分と比べる



5つのデメリット

デメリット5

投稿が数日で 流れて消える

- 出した直後がいちばん見られ、あとは沈む
- 数日たつと、ほぼ見られなくなる
- あとから探しに来てもらえることは少ない
- 時間をかけた1本が、蓄積として残らない

対策：あとから検索で見つかる形にも残しておく



やめる必要はありません

向き合い方を変える



同じ状況でも、前提を変えると続けられます

5つの置き換え

よくある思い込み

毎日投稿しないと意味がない

フォロワー数が成果

映える写真が必要

反応が少ないと失敗

他人と比べて落ち込む

→

→

→

→

→

こう置き換える

頻度より、続けられる形を決める

数より、届いた1人との信頼

飾らない発信のほうが伝わる

あとから見られる前提で作る

前月の自分と比べて判断する

気力ではなく、仕組みで続けます

続けるための3つ

1

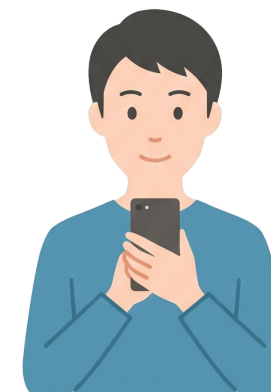
本数を
先に決める



週1本でも構いません。繁忙期でも守れる数にしておくと、止まらずに続きます。

2

型を作る



撮る場所・構成・投稿の順番を固定します。毎回の判断が減り、時間が短くなります。

3

外に出す



編集と投稿は任せて、自分は撮るだけにします。手が空いた分を本業に戻せます。

向き合い方を変える

インスタ1本に頼らない形にします

流れる発信と、残る発信

接点	担う役割	置いておくもの
インスタの投稿	今つながっている人に届ける	日常・お知らせ・世界観
リール・ショート	まだ知らない人に届ける	短く切り出した要点
動画・記事	あとから検索で見つけてもらう	手順や考え方の詳しい解説

1回の撮影素材を、3つの形に使い回すのが現実的な進め方です。

友竹ホールディングスがお手伝いできること

投稿企画テンプレート

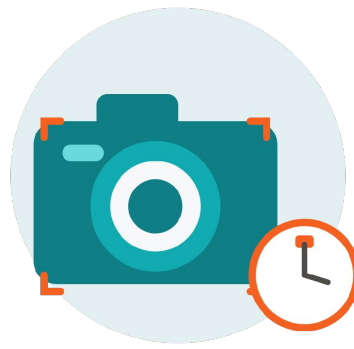


月間の投稿テーマと構成を型でお渡しします。何を出すかで迷う時間がなくなります。

想定される導入効果

ネタ切れで投稿が止まらない。

撮影ルール設計



撮る場所・角度・照明を固定し、短時間で撮り終わる形に整えます。

想定される導入効果

撮影が本業の負担にならない。

編集・投稿の代行

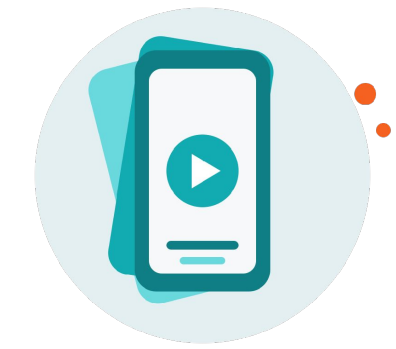


撮っていただいた素材を編集して投稿します。ご本人は撮るだけで済みます。

想定される導入効果

本業を止めずに発信が続く。

ショート動画の量産



撮っていただいた素材から、リールやショート動画を複数本に展開します。

想定される導入効果

1回の撮影で本数を増やせる。

よく聞かれるご質問

Q1 週1本でも意味がありますか？

あります。週1本を半年続けたほうが、初月に毎日出して止まるより成果につながります。判断のもとになるのは投稿の総数と蓄積なので、守れる本数を決めて止めないことを優先してください。

Q2 動画や記事も同時に始めるべきですか？

同時に始めると、どれも中途半端になりやすいです。まずインスタで撮影と投稿の型をつくり、素材が安定して出るようになってから、その素材を使って動画や記事に広げる順番が無理がありません。

この資料の要点

やめるのではなく、変える

1

本数を先に決める

週1本でも構いません。守れる数にすることが先です。

2

型をつかって時間を短くする

撮る場所と構成を固定し、毎回の判断を減らします。

3

流れる発信と残る発信を組み合わせる

1回の素材を、あとから働くコンテンツにも変えます。



インスタが悪いのではなく、続け方と組み合わせ方を決めていないだけです。

まずはお問い合わせください

下のボタンから、お問い合わせフォームが開きます。

[お問い合わせはこちら](https://tomotakeholdings.com/contact/)

<https://tomotakeholdings.com/contact/>